

1 学校教育目標

伸びる子 強い子 やさしい子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	児童が安心して学び、安全に楽しく生活できる学校 バランスの良い「知・徳・体」を育むとともに、主体的な学びがある学校 地域と協働し、保護者や地域の期待に応え、信頼される開かれた学校
○児童像	自ら学ぶ子：自分から進んで課題をつかみ、情報を集めたり整理したりして自分の考えを表現する子ども 自ら行動する子：健康で強い意志をもち、正しいと判断したことを主体的に行動する子ども 共に育つ子：豊かな心と思いやりをもち、他者と共に高め合おうとする子ども
○教師像	使命感・展望・情熱をもち、指導・校務・研究にバランスのよい力量を身に付けた教師 児童が主体的に学ぶ時間を確保し、児童の学習を支えることができる教師 児童を深く理解して共感的な生活指導に努め、「いじめを絶対に許さない学級づくり」が果たせる教師 組織人としての責任感、協調性を有し、高次元の和で結束する教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

- ・ICT機器の活用が地域・保護者にも認知され、特色となっている。
- ・教職員は教育熱心で児童への愛情が深い。区ICT教育モデル校（仮）、Google for School 事例校、文部科学省リーディングDX事業連携協力校として、ICTを活用し主体的に学ぶ児童の育成に向けて、全教員が一致団結している。
- ・保護者および地域は学校に協力的であり、教育活動への支援・協力が期待できる。地域は昔からの協力体制が整っており、町会・自治会の結束力も高い。地域で子供たちを見守る風土もあり、様々なボランティア活動を通して学校を支えてくれている。

【前年度の成果と課題】

- 基礎学力の定着について目標通過率（80%）は達成できたが、目標正答率（80%）に届いていないため、授業改善・補充指導が必要である。
R6年度は、児童主体の学習スタイルに変更することにより、基礎学力の定着度も高めていきたい。
- 高学年における教科担任制による授業が定着した。今後は、低中学年においても多様な指導スタイルを取り入れ、多様な授業スタイルを模索し、児童の学力向上につなげていきたい。
- 区の情報教育拠点校として、授業研究・公開授業・他国や他県とのオンライン交流等を行い、他県等からの教育施策にも対応してきた。
学校HP等を通して研究成果を発信するとともに区内小学校への先進校としての責務を果たすことができた。これからも、国内の先進校に学びながら、新しい学習（授業）スタイルの実現に挑戦し、児童の情報活用能力と言語能力を高めていきたい。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R4	R5	R6	R7	R8
1	学力向上アクションプラン	◎	◎	◎	◎	◎
2	豊かな心の育成			○	○	○
3	体力向上と健康増進			○	○	○
4						

5 令和6年度の重点目標

重点的な取組事項－1	学力向上アクションプラン
-------------------	--------------

A 今年度の成果目標	達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)	コメント・課題	達成度 ◎○△●
基礎学力の定着	80%以上		自己評価の際に記入	

B 目標実現に向けた取組み

新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	基礎学力の定着	全児童 国語 算数 補充：低 正答率児	毎週 夏季 通年	パワーアップタイム 担任による朝学習 放課後学習教室 全教員による補充指導 サマースクール 全教員による集中指導 AIドリル活用：朝・放課後等 家庭学習でも	・4月の学力調査 ・単元テスト ・2月に過去の区学力調査問題	・国語の正答率 80%以上 ・算数の正答率 80%以上	自己評価の際に記入		
2 継続	高学年の教科担任制の実施	高学年 国・社・ 体・外・ 家・総合 等	5月～ 週6回	3人の担任が担当教科を決めて3学級で授業する。 ・各学年で教科を選ぶ ・各教科2時間×3学級	・進捗状況の確認(毎週)	・各教科標準時数の80% (国語以外)			

3 新規	授業観察 OJT	全教員	概ね、 6月 10月 1月	新学習スタイルの確認 ・管理職、OJTチーム ・新スタンダードの徹底 ・ICTスキル活用と向上 ・新「授業力カルテ」をもとに、成長点や課題を明確にし共有する。	・3半期ごとの授業観察と意見交流 ・カルテによる自己評価と相互評価	・年間各3回完全実施 ・カルテによる達成度平均75点以上
4 継続	若手教員 育成研修会	10年目以下の若手 教員	特設時間、諸会議、打ち合わせ	教職の基礎・基本の育成 ・管理職、各担当 ・足立スタンダード ・危機管理・ICT活用等知識・技能の修得	・研修会の開催回数	・年間50回以上
5 継続	言語能力の 向上	全児童	・年間 ・専門家活用	・「校内俳句ウイーク」年2回実施。応募と奨励。 ・劇団員による音読表現。心情理解。低学年。 ・外部講師による俳句指導と落語授業。国語への興味関心を高める(中学年) ・読書感想文指導(高学年)	・応募作品数 ・出前授業の開催回数 ・児童の意欲	・前年度以上の応募数 ・3項目4回以上 ・意欲向上
6 継続	特色① ICT活用 (区モデル校)	教員 授業全般	小中連携、公開授業、校内研究	・各学年、専科等 ・ICT活用による主体的及び協働的な学習 ・遠隔地等との交流授業 ・教師の生成AI活用 ・プログラミング的思考	・研究会の開催実績 ・授業の分析 ・AI活用実績	・授業6回 ・分析6回 ・活用10回
7 継続	特色② 防災教育	全児童	総合的な学習の時間	・防災教育研究事業認定 ・全学年防災巻授業 ・防災や避難所運営に役立つ体験的な活動	・防災巻授業 ・児童が避難所運営訓練に参加	・事業計画の完全実施 ・参加児童の肯定的な感想

自己評価の際に記入

重点的な取組事項－２		豊かな心の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
安全で安心できる学校生活の実現		・意識調査（児童・保護者）の結果、 「学校が楽しい」と回答90%	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
いじめの防止・早期 解消	・いじめアンケート「相談できる人いない」を 0にする。 ・「いじめ」の個票作成 後、3ヶ月以内に解消 させる。	・道徳授業の計画的な実施、道 徳授業地区公開講座の工夫 ・QU調査結果の検証・活用 ・教育相談体制の充実 ・いじめ聞き取り報告会(3回) ・生活指導夕会(毎週)	自己評価の際に記入		
思いやりの心の育成	・「子供は学校に行くの を楽しみにしている」 保護者回答90% ・「学校が楽しい」児童回 答90%	・ペア学年活動(朝)の充実 ・学校行事における異学年交流 ・幼保小連携活動の充実 ・本物に触れる体験活動充実 ・保護者、地域との連携強化			

重点的な取組事項－３		体力向上と健康増進			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
各種項目の数値について、前年度よりも 向上させる		① 体力調査結果の向上 ② 生活習慣病予防・歯科保健の向上 ③ 残菜率の低下	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					

項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
体力向上	・ 体力調査結果の改善 各学年、前年度よりも よい数値になる	・ 体育授業の改善 ・ 休み時間の縄跳び ・ 休み時間の持久走	自己評価の際に記入		
保健指導	・ 学校保健実施結果の向 上（生活習慣病予防及 び歯科保健）	・ 保健指導と授業の充実 ・ 保健便り発行（毎月） ・ 栄養指導と歯科指導の実施			
食育指導	・ 残菜率の減少	・ 給食便り発行（毎月） ・ 給食指導の充実 ・ 残菜データの共通理解			

6 まとめ

<p>(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性</p> <p>(2) 保護者や地域へのメッセージ</p> <p>(3) その他（学校教育活動全般について）</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>
---	--